

やまなし女性の知恵委員会提案に対する施策反映状況整理表

新規：新規予算の事業及び新規の取組をするもの
 継続：継続事業や業務のなかで改良、検討するもの

No.	提案内容	新規	継続	事業名	説明 (事業内容、提案との関連、今後の反映方向など)	平成21年度 予算額(千円)	部 局
環境教育							
1	環境教育の実践 (例：環境教室、キャンプ、農業体験、 キャップ集め、緑のカーテン、廃油リサイ クル、子どもクラブの交流など)			環境教育推進費(環境教室開催 費)	環境科学研究所の環境学習室、生態観察園等を活用し て、小中学校などの団体を対象に、環境問題を地球規模 で考え、身の回りのことから実践していくことの大切さを伝 える環境教室を開催します。	268	森林環境部
				-	エコクラブ事業により、交流を深め、環境に対する意識を 高めていくよう働きかけていきます。 また、県内のエコクラブが「こどもエコクラブ全国フェスティ バル」に参加し、全国各地で展開されている活動等を通し て、交流を深め、最新の環境問題を学び、環境に対する 意識を高め活動の活性化を図っていきます。	-	森林環境部
2	情報を公開し、山梨県の現状が分か るようにする			-	森林環境部の「やまなしの森林・環境」等のホームペー ジの内容を充実していきます。	-	森林環境部
3	人材を育成する。 また、環境人材バンク(仮称)を作り、そ の人材を登録する。			環境学習における指導者養成事業	環境に関する知識等のある人材を募集、指導者として養 成、人材バンクに登録しホームページ等で公開、県民の 講師派遣要請に応じ講師として派遣します。	1,287	森林環境部
エコドライブ							
4	運転免許取得時、更新時などにエコド ライブの啓発を充実させる。 また、山梨県の自動車台数のうち、2 0%がエコドライブ宣言をすることを目標 とする。			エコドライブ運動推進事業費 (総合交通センターでの普及啓発 は温暖化防止活動推進センターの 事業費で実施予定)	リーフレットを作成、県民の日等の集客力のあるイベン トや、総合交通センター等で配付し、周知を図るとともに、エ コドライブ宣言者にステッカーを配付し実践を推進してい きます。	547	森林環境部
				-	警察本部運転免許課(総合交通センター)及び運転免許課 都留分室において、免許更新時における講習の際、「はじめ よう！エコドライブ」等と掲載した「やまなしの交通」(冊 子)をすべての受講者に配付し、エコドライブの啓発を行 います。	-	警察本部
5	エコドライブ講習を実施する。			やまなしエコドライバー養成事業	エコドライブを自ら実践し、地域において実技指導や普及 啓発を行うエコドライバー(30名)を養成します。	167	森林環境部
6	「エコドライブ10のすすめ」を周知させ 広げる。より効果を高めるために公募に よるポスターを作成する。	再 掲		エコドライブ運動推進事業費	リーフレットを作成、県民の日等の集客力のあるイベン トや、市町村等を通じ地域に配付し、周知を図るとともに、 エコドライブ宣言者にステッカーを配付し実践を促します。 (ポスターは在庫を活用)	(547)	森林環境部
環境家計簿							
7	環境家計簿を分かりやすく、記入しや すいものにする。(記入例：電気、水道、 ガスなど) また、回収率を上げるために回収方法 を検討する。			温暖化対策普及啓発事業費	学校で環境教育を本格的に始める小学校4年生の児童を 持つ家庭を中心に環境家計簿を配付し、各家庭で共に考 え、実践していけるように取組を促します。また、回収率を 上げるため小学校経由で実施する予定です。 (H20年度実施) 環境家計簿を全戸配布し、内容を工夫しました。 記入項目を絞り、使用量がはっきり分かり、記入しやす いものに限定しました。	500	森林環境部
8	家族構成別の平均値を環境家計簿 (ホームページにも)に掲載し、家庭での 目安とする。また、家庭でのCO2削減 率10%を目標とする。	再 掲		温暖化対策普及啓発事業費	環境家計簿回収ボックスを市町村、県の合同庁舎の窓 口の他に、スーパー等にも設置する等、回収方法を工夫 しました。 「家庭でできる温暖化対策」を分かりやすく記載し、各家 庭での取組に役立てていただけるよう工夫しました。 アンケートの家族構成欄に各年代別の人数を加え、回 収データに活用できるようにしました。	(500)	森林環境部
9	回収したデータを有効に使う。	再 掲		温暖化対策普及啓発事業費	登録していただいたメールアドレスに環境家計簿の調 査結果をお知らせできるようにしました。	(500)	森林環境部
				環境科学研究所 研究費(県内 における実生家庭部門の温室効果ガ ス排出構造の把握に関する研究)	環境家計簿を回収し、そのデータを分析し有効に使って いきます。 温室効果ガス排出に関するより身近なデータを県民に提 供することにより、県民の温室効果ガス排出削減意識の 向上を促していきます。その結果として、山梨県の民生家 庭部門の温室効果ガス排出削減を目指していきます。	927	森林環境部
10	取り組みを広げるための動機づけや 支援を行う。	再 掲		温暖化対策普及啓発事業費	学校で環境教育を本格的に始める小学校4年生の児童を 持つ家庭を中心に環境家計簿を配付し、各家庭で共に考 え、実践していけるように取組を促します。4カ月の取組 後、提出者にエコ商品の配付を予定しています。	(500)	森林環境部

No.	提案内容	新規	継続	事業名	説明 (事業内容、提案との関連、今後の反映方向など)	平成21年度 予算額(千円)	部 局
エコ表彰							
11	「エコ宣言(エコ企業宣言)」(仮称)をする企業を募集し、企業の取り組みを紹介し、モデル企業とする。 また、企業の取り組みに対して「エコ表彰」を行い、HPや広報紙で情報を発信し、企業の活動を誘導していく。			エコ事業者シンポジウム開催事業	昨年12月に制定した「山梨県地球温暖化対策条例」では、地球温暖化対策に関する事業者の責務について規定し、事業者に、温室効果ガス排出抑制計画の作成、提出を求め、それを県がホームページ等で公表することにより、自主的・計画的な取り組みを促進することとしています。また、事業者を対象とした制度説明会や、優良事業者による排出抑制の取組状況や、環境保全に積極的に取り組む県内外の事業者の活動などを紹介するシンポジウムを開催します。 温室効果ガス排出抑制計画期間(3年間)終了後、排出削減実績、取組状況などから、優れた事業者の顕彰を検討していきます。	1,000	森林環境部
森林整備							
12	森林整備の推進に必要な人材を育成するとともに、活動できる仕組みを作る。			簡易作業路開設事業	地球温暖化防止の森林吸収源対策として、間伐等の森林整備を重点的に行う必要があります。 現在、本県では、作業路網の遅れから間伐材搬出コストが高止まりし、間伐の推進が難しくなっています。このため、県が平成19年度から養成している簡易作業路作設士の活動により低コストで耐久性の高い簡易作業路網を整備し、搬出コストを低減した間伐を推進していきます。	51,000	森林環境部
				簡易作業路開設支援事業		6,000	森林環境部
				林材業就業促進総合対策事業	林業事業者の経営基盤の強化、労働環境の改善を行うため、林業事業主への指導を行うとともに、専門的知識・技術を習得するための研修を実施します。	1,999	森林環境部
				森林整備担い手対策事業	林業労働従事者の労働環境向上のため、就労条件の向上、労働安全衛生の促進を図るとともに、林業事業者の経営基盤強化のため、林業労働従事者の技術・技能の向上、新規就労者の参入支援、経営診断を実施します。	13,058	森林環境部
				-	森林組合等の林業事業者体採用された人々に対して森林整備等の作業に必要な技能・技術習得のための研修等を実施していきます。(緑の雇用担い手対策事業(全国森林組合連合会事業))	-	森林環境部
				-	地域の特性に即した雇用構造の改善の促進のため、就職者に対する相談、求人情報、職業講習等を実施していきます。(地域林業雇用改善促進事業(山梨労働局事業))	-	森林環境部
				森づくり活動支援事業	企業や団体、県民参加の森づくりを支援するために設立した「やまなし森づくりコミッション」の活動を支援していきます。また、「活動の場所を探して欲しい。」「森林体験、自然体験、自然学習などのイベントに参加したい。」などの具体的な相談にも応じながら様々な活動を支援していきます。	458	森林環境部
観光基盤整備							
14	(1)人材育成 専門的知識、接客マナーを兼ね備えた観光サービススタッフを育成する。 (例)やまなしコンシェルジュ、観光ボランティア、トラベルボランティア			(社)やまなし観光推進機構事業費補助金 (やまなしホスピタリティ向上事業)	やまなし観光推進機構が実施する次の事業に対して助成を行い、ホスピタリティの向上に努めていきます。 ・タクシー、旅館、土産品、地域観光協会等業種別に、顧客満足度の向上や企業のイメージアップを図るために、もてなしや接客等専門性を高める講座を開催していきます。 ・県内の地域ごとに、一般県民を対象として観光意識の浸透を図るとともに県内観光資源や地域の魅力に関する知識を習得することを目的とした公開講座を開催していきます。	300	観光部
				地域研究交流センター費(デザイン講座・国際観光講座実施事業費)	学生や県民・企業が参加できる国際観光講座(公開講座)を実施し、学習機会の充実を図っていきます。	819	総務部
				教育費(社会人の学び直し教育プログラム開発・実施事業費)	インバウンド観光の担い手の育成を図るため、大学の教育研究資源を生かした教育プログラムを実施していきます。	19,877	総務部
				産業技術短期大学校管理費	産業技術短期大学校の観光ビジネス科においてホテル系と旅行系のスペシャリストを養成していきます。 県内の観光関連企業に企業実習するなど地域現場を重視したカリキュラムを実施していきます。	147,110	商工労働部
15	「山梨県立大学」「山梨県立産業技術短期大学校」において、学習機会の充実を図り、人材を育成する。			向上訓練費	県内企業の在籍者を対象に様々な職種に関連した短期間の職業訓練を実施していきます。 観光関係では、国内旅行業務取扱管理者試験講座などを開講します。	17,746	商工労働部

No.	提案内容	新規	継続	事業名	説明 (事業内容、提案との関連、今後の反映方向など)	平成21年度 予算額(千円)	部 局
16	(2)広報・宣伝 「やまなし大使」の活用			-	サポーターズ倶楽部の役割について新たにホームページ掲載しました。 地元事業者がサポーターズ倶楽部交流会に参加しやすいように働きかけを行います。	-	知事政策局
17	知事のトップセールスの活動範囲を海外(特に姉妹都市中心に)及び国内全域とし、山梨の特色や特産品を盛り込んだ演出をする。			-	各部局に対し、効果的なトップセールスへの取り組みを呼びかけます。	-	知事政策局
				-	知事のトップセールスの際には、本県の観光PRが効果的にできるよう演出を工夫していきます。	-	観光部
				国際観光トップセールス事業費	本県を訪れる外国人旅行者の増加を図るため、東アジア地域などにおいて、トップセールスによる誘客宣伝活動を行います。	4,000	観光部
18	県外メディアへの露出度を高めるなど効果的なメディア戦略の実施			やまなしブランド・クリエイターズ会議	やまなしブランド戦略における重要なポイントとなる取り組みについて、専門家によるアドバイスを受けることにより、戦略の着実な推進を図っていきます。	768	知事政策局
				映像産業招致推進事業費	映像作品を通じて山梨の魅力を発信するため、映画、テレビなどのロケの誘致や支援を積極的に行っていきます。	741	観光部
				やまなしブランド確立推進事業費	山梨県そのもののブランドイメージの向上を図るため、本県の魅力や情報を様々なメディアを使い首都圏在住者に向けて戦略的に発信していきます。	500 (40,000)	観光部
19	情報の受発信の改善・充実			富士の国やまなし観光ネット情報発信事業費	個人・小グループ旅行者の周遊型・滞在型観光へのニーズに対応できるよう、山梨観光のホームページ「富士の国やまなし観光ネット」の機能を充実していきます。 ・お好みの旅の計画の作成 旅先で行ってみたい場所や施設、宿泊する場所を選ぶだけで、自分だけの旅行プラン(行程表や地図)を作成することができます。 ・巡りたいお奨めスポットの表示 目的の観光スポットと併せて巡るのに最適な観光スポットやイベント情報を、訪問時期に応じて得ることができます。 ・行ってみたい場所、気になる場所の簡単検索 富士山の見える温泉施設、車椅子で入浴できる施設、ペットと一緒に利用できる施設など、お好みに応じた施設を探しやすくします。 ・地域の特色ある観光資源を活かした地域発の旅行商品の紹介・販売 ・魅力的な県産品や富士の国やまなし館のセレクト商品の紹介・販売	30,733	観光部
20	(3)環境整備 バリアフリー、ユニバーサルデザインのソフト面での充実			富士の国やまなし観光ネット登録情報充実事業	富士の国やまなし観光ネットに掲載している観光スポットや観光施設のバリアフリー対応状況等の情報を充実させていきます。	7,767	観光部
21	既存の資源活用と改善			県庁舎耐震化等整備事業	県民情報プラザ等跡地に建設を予定している防災新館の1階は、県内外から多くの県民や観光客に訪れていただけるよう、商業的な施設や情報発信施設を効果的に配置する「やまなし情報広場(仮称)」として整備します。「やまなし情報広場(仮称)」は、本県が世界に誇る地場産品や観光資源等のやまなしブランドを広く情報発信し、活気やにぎわいを創出する場とします。整備のイメージとして、ジュエリーミュージアムや総合観光物産案内センターなどを想定していますが、今後、整備を実施するPFI事業者の企画提案等も踏まえる中で決定していきます。 また、県庁舎敷地については、都市景観に配慮する中で、敷地境界にある門扉・フェンスも極力取り除き、県民や観光客の出入り、通り抜けを可能にし、年間を通して一般に開放します。さらに敷地内は、緑地帯として整備し、県民や観光客、来庁者が気軽にくつろげるよう、ベンチや東屋などを配置するとともに、県産花きなどの展示も計画していきます。	464,000	総務部
	新しい旅～旅してやせるフィットネス・ウォーキング						
22	「旅してやせるフィットネス・ウォーキング」を12コース構築する。 楽しく歩き、足腰鍛え、体重を落とす、と同時に、満足感いっぱい心地よく疲れて、余力を残さず、宿泊を伴う旅				H21年4月に発足する「(社)やまなし観光推進機構」では、地域の観光資源を活かした着地型旅行商品の造成促進を行っていきます。その中でこの趣旨を活かした旅行商品の造成ができるよう情報提供していきます。	-	観光部